

鶴見川を歩く その3

開催日：2026年2月21日（土） 晴れ やや健脚 歩数：27000歩 距離：17km

出発：小田急小田原線鶴川駅北口 10時

コース：鶴川駅→鶴川駅前やすらぎ公園→岡上げやき公園→町田薬師池公園（昼食）→野津田神社→
鏡堰水辺の広場→小山田蓮田緑地→上小山田みつやせせらぎ公園→鶴見川源流の泉→山王塚→
展望広場→唐木田公園→唐木田駅

参加者：熊坂L 市村SL 山田SL 勅使河原 吉留 平石 齊藤優 清水 井内 奥村 高橋友 脇坂
飯田 山口 松本 大城 沼津 大幡 尾形 白田 平方 今泉 網 鏡 清野 25名

好天に恵まれた「鶴見川を歩くその3」でした。2回目に続いていくつもの橋を右岸から左岸、左岸から



右岸へと渡り、通過しました。鶴見川から少し外れて鎌倉街道を歩き町田薬師池公園へ、おりから梅まつりが行われていて梅の花見となりました。この公園はツバキや桜、ハス、アジサイ、フジ、花ショウブなども楽しめるようで、もう一度訪れたい公園です。河口から42.5kmの源流の泉に到着したときは、一仕事やり終えたような達成感いっぱいでした。よこやまの道を歩き小田急唐木田駅に到着。3回シリーズ、JR鶴見駅をスタートして鶴見川沿いを歩き唐木田駅まで、総距離51km、総歩数8万歩。3回全参加者は14名（勅使河原、平石、熊坂、齊藤優、清水、井内、市村、山田、脇坂、飯田、山口、沼津、尾形、白田）でした。

鶴見川を歩く3回シリーズ、生活用水、灌漑用水として川と人が大きくかわかり、沢山の鳥や動物、魚などが生息していることを知ることができたサクサク歩きの「鶴見川を歩く」でした。

鶴見川源流の泉

やすらぎ公園10時20分～岡上げやき公園～小川の道～河川管理境界

集合は町田市にある鶴川駅、線路わきの鶴川駅前やすらぎ公園へ移動して熊坂リーダーがコース説明。ストレッチをして10時20分にスタート、踏み切りを渡り鶴見川左岸を西方向の上流へ歩きます。少し歩いて川崎市麻生区の岡上げやき公園の一角へ、階段を下りて小川の道へ、以前はこちらが鶴見川本流だったのでしょうか。小田急線下のレンガづくりのガード下をくぐり抜けると小学生と「和光大学」の腕章を付けた学生のグループが網を持って小川の生物の調査をしているようでした。5分ほどの小川のせせらぎ歩きを楽しんで、階段を上がって再び鶴見川左岸へ。河川管理境界の表示板があり、下流は神奈川県、上流は東京都と書かれていました。地図で確認すると岡上げやき公園エリアから南側は麻生区の飛び地になっているので、鶴見川の管理も分かれているようです。町田市域の左岸を上流へ歩き、川井田橋を渡り右岸に出ます。



金井の獅子舞雨乞いの碑～左岸・右岸ウォーキング～11時2分小休憩

橋を渡ったところに「金井の獅子舞雨乞いの碑」がありました。江戸時代の寛文年間（1661年から1673年）に、金井村で村の平穏無事と五穀豊穡、雨乞いを祈願したのが始まりで、毎年、金井八幡神社の例大祭のときに踊り続けられています。青空の元快調なピッチで、八坂橋、河口から32.5km標柱前、弁天橋を通過。いくつかの橋を渡り、左岸、右岸へと入れ替わるウォーキングです。住吉橋、関山橋、春日橋、大倉橋、河口から33.5km標柱前を通過。11時2分、舗装道路脇の公園でしょうか、一休みできるところがあり休憩タイムです。駅を出て約40分、大分汗ばんできて衣類調整と水分補給をしてしばし談笑。



河津さくら～鎌倉街道～11時30分 町田薬師池公園

5分ほど休憩をしてスタート。道路端にピンクの河津さくらが咲いていて、春の訪れを告げているようです。どなたかが「ジョウビダキ」と言われたので、民家のフェンスにとまっているところをパチリ。ジョウビダキは、10月ごろに中国東北部やロシア極東部から渡来し3月ごろまで日本で過ごす渡り鳥で、この日も何度か見ることができました。袋橋を渡り、鶴見川を離れて鎌倉街道を南下します。薬師ヶ丘バス停を通過して11時30分、町田薬師池公園へ到着しました。入口を入るとハス田が広がっていますが、開花は7月ごろのようです。ハス田の中には木道が敷かれていて散策できるようになっていました。



ハス田～自由民権の像～金魚葉椿～薬師池・タイコ橋

ハス田から散策路を上って行くとツバキ園へ、その一角に自由民権の像が建立されていました。ツバキの木には品名が付いていて「金魚葉椿」という椿があり、なるほど葉の先が金魚の尾に見えます。ツバキ園の先に進むと「梅まつり」の幟が出ていて、キッチンカーなどでワインやビール、肉まんなどが売られていました。芝生広場を横切り、薬師池に架かるタイコ橋で、この日最初の集合写真を撮影。



昼食タイム～公園散策～旧荻野家住宅～旧永井家住宅～梅園

フジ棚のところのベンチや薬師池を望むベンチで昼食タイム、池の先には梅園が広がっています。昼食後はしばしフリータイムで公園内を散策です。最初に訪れたのは旧荻野家住宅、江戸時代末期に荻野衛門が三輪（町田市）に医院として建てた家が移築されてきました。隣には米や雑穀を保存していた板倉があり、「ねずみ返し」のことなどが説明板に書かれていました。その先梅園の高台に旧永井家住宅、屋内の土間には大きなかまどの展示。しばし昔にタイムスリップしたような空間です。今年の梅の開花は速いのでしょうか、青空に紅梅、白梅が映えています。梅園にはシートを敷いて花見をする人や散策する人で賑わっていました。



12時33分午後のスタート～木段～鐘楼～野津田神社～参道橋

昼食後のスタート地点は木造づくりのトイレ近く、薬師池や梅園が見渡せます。薬師池公園は季節ごとにツバキ、梅、桜、フジ、花ショウブ、アジサイなどの花が楽しめる公園。桜やフジの花の時期にも訪れたいと思いました。みなさん公園内の散策を楽しんで三々五々集合。12時33分、落ち葉を踏みしめて木段を上って行きます。上りきったところに鐘楼があり、一息つきます。ここからは舗装道路の下り道、左側は住宅街。右側は緑豊かな薬師池公園、そのためかタヌキが出るようで「タヌキの通行に注意しましょう」の貼り紙が出ていました。野津田神社前を通り、参道橋まで下りて来ました。



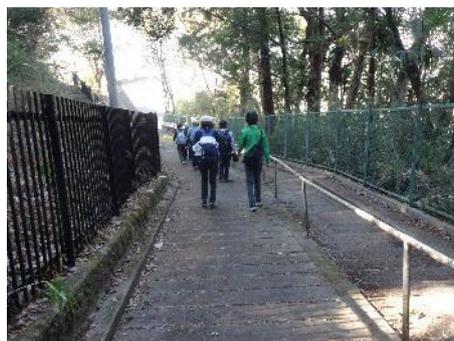
右岸を西へ～丸山橋～郷見橋～13時10分 鎧堰水辺の広場

参道橋から、再び「鶴見川を歩く」の始まりです。右岸を西へ、木村橋、丸山橋を通過。紫の小さな花が群生していました。郷見橋を渡り左岸へ、対岸にダイサギが一本足で休んでいます。河口から35.2km標柱、新鎧橋を通過して13時10分、鎧堰水辺の広場へ到着。水が勢いよく流れている水路のようなところが以前の主流だったようです。説明板に「鎧堰は、永禄8年（1565年）に八王子城主の北条氏照侯の印版状を得て武藤半六郎が構築した。北条氏照は天正18年（1590年）豊臣秀吉の小田原城攻略による落城で秀吉から切腹を命ぜられた。しかし鎧堰はその後長い間地域の人々に守られ、今日まで400年以上にわたって野津田地区の水田に豊かな農業用水を供給して人々の生活を支え親しまれてきた」と記されています。大分暑くなり、ほとんどの人が衣類を一枚脱ぐなど衣類調整をして休憩タイムです。



13時15分～県道57号を横切り北西へ～14時8分小山田蓮田緑地

13時15分、スタートです。兜橋を通過、並木橋を渡り右岸へ。10分ほど進み、山肌の土の道の上って下りて、舗装道路を歩き県道57号線の業務スーパーのところへ。信号を渡り、ここからは住宅街の舗装道路を北西方向へ、鶴見川も北西方向から流れてきますが、川辺の道がないところもあり少し離れたところを歩きます。高台の住宅街の道を上って行き、石段の道を下りて舗装道路を進みます。比較的新しく開発されたと思われる住宅街に囲まれた宮の前公園の脇を通り、少し進むと小山田蓮田緑地が見えてきました。小山田神社に参拝して小山田蓮田緑地へ、蓮田の中の木道を歩きます。時刻は14時8分です。



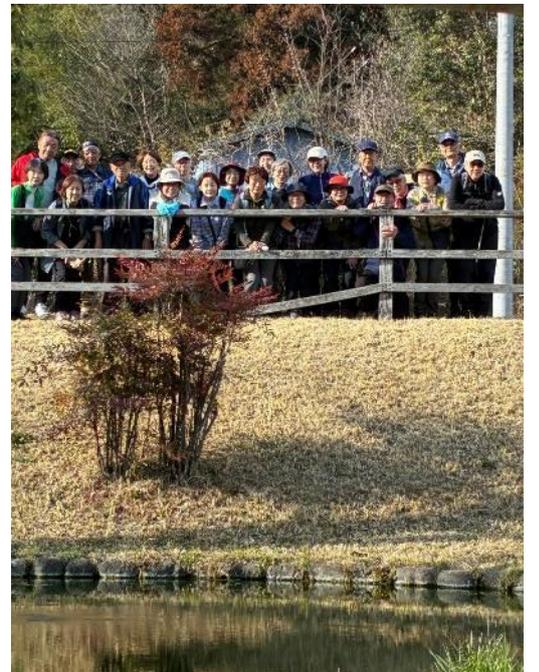
14時20分～上流端～上小山田みつやせせらぎ公園～15時 源流の泉

芝生広場のベンチで休憩、チョコレートや煎餅の差しれがあり疲れた身体を癒してくれました。14時20分、源流をめざしてスタート。川沿いを歩き新橋へ、ここが鶴見川上流端、川幅が大分狭くなりました。さらに上流の上小山田みつやせせらぎ公園へ、川辺に下りようとしたのですが道が門扉で閉ざされていて断念。せせらぎ公園の北側域を歩いて10分ほど、小山田バス停へ到着。ここからは町田バスセンター行きのバスが出ています。再び鶴見川沿いの舗装道路を進んで行き10分ほど、15時丁度に「鶴見川源流の泉」へ到着。達成感いっぱい、感慨ひとしおです。



一日約1300トンの地下水を湧出する鶴見川源流の泉

表示板に「当地は、鶴見川の再源流部町田市上山田田中谷戸に位置し、一日約1300トンの地下水を湧出する鶴見川源流の泉です。この安定した清流は、源流の生きものたちの賑わいを支え、水田の用水としても大切に利用されつつ、中下流の街に向けて多摩丘陵を駆けおります」と記されていました。泉の水面はブルー、湧水がこんこんと湧き出て下流へ流れ落ちて行きます。まとまった雨が降らず城山ダムなどの渇水状態が嘘のような感じです。鶴見川河口から42.5km、源流の泉到達を記念して記念写真を撮影しました。



15時8分～唐木田配水所・山王塚跡・多摩よこやまの道

15時8分、多摩丘陵の山王塚をめざして上り道に入ります。進行方向左側は畑なのか、良質の土が広がっています。足裏から伝わってくる土の感触が疲れた足に優しい、右側は竹林が広がり竹のトンネルをくぐり抜けます。上ること10分ほどで尾根道にでました。尾根道を北東方向に進んで行くと前方に東京都水道局唐木田配水所の塔が見えてきました。ここで小休憩、展望の良いところで北側には東京都道158号線が走っています。多摩よこやまの道の標柱があり「この山王塚跡には、鶴見川流域最高度三角点山王塚（標高168m）があります」と記されています。三角点は配水所の敷地内にありました。



鶴見川河口方面展望広場～唐木田公園～16時25分 唐木田駅

少し進んだところに「鶴見川河口方面展望広場」がありました。送電線鉄塔左に横浜火力発電所ツインタワーが写っていましたので、同じ角度で写真を撮りました。よこやまの道を歩いて行くと「奥州古道と六部塚～民話の塚と石塔」の標柱があり、江戸の時代から人が行き来していたことを知ることができます。大きな音を立てて2機のヘリコプターが東の方向へ、近くに基地でもあるのでしょうか。自動車道に出て、よこやまの道に別れをつけて唐木田駅方面へ下って行きます。唐木田公園でクールダウン、小田急の車両基地の脇を通過して16時25分、ゴールの唐木田駅に着きました。歩数2万7000歩、歩行距離17kmでした。



雪の中の下見もまた楽し！ 雪の降りしきる新鎧橋

2月7日、「鶴見川を歩くその3」の下見を4名（熊坂リーダー、山田さん、舟田さん、市村）で行いました。予報では夕方から雪でしたが、予報に反して昼前から雪がちらほら。昼頃からは本格的な降りになりました。写真は13時30分、雪が降りしきる水墨画のような新鎧橋です。雪のウォーキングを楽しみ、コース検討をしながら歩いたので鶴見川源流の泉に着いたのが15時55分になってしまいました。この日の下見はここで断念、後日熊坂リーダーが再度一人下見で唐木田駅まで歩き、本番を迎えました。本番は好天に恵まれて、予定通りのコースタイム・サクサク歩きの楽しいウォーキングになりました。

私の雪の中のウォーキングはこの下見を含めて3回目。1回目は2019年3月24日の「鎌倉古道湯坂路で浅間山～鷹巣山へ」の下見、このときは深夜に降った雪が山頂に近づくにつれて新雪が残っていて、新雪を踏みしめて歩きました。2回目は同じ年の4月10日の「関東ふれあいの道埼玉県⑥花の美の山公園を訪ねるみち」、降りしきる雪の中を雪と桜のコラボの美の山公園へ。今回の下見と合わせて思い出に残る雪のウォーキングでした。



（市村記）